NEWSLETTER No.58

編集·発行 甲南英文学会事務局 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

甲南大学文学部英語英米文学科気付

メール: els@konan-u.ac.jp

ウェブ: http://www.konan-u.ac.jp/~els

発行日 2016年6月1日

1. 甲南英文学会役員会報告

去る 2016 年 3 月 26 日、甲南英文学会役員会が開催され、2015 年度収支決算報告(案)、2016 年度予算案、2016 年度定期総会・大会などについて話し合われました。なお、2015 年度収支決算報告(案)については、総会においてご承認をいただきたいと思います。

2. 大会準備委員会より

2016 年度(第 32 回)甲南英文学会定期総会の日程は 2016 年 9 月 17 日(土)と決定されました。今年度は甲南大学の学年暦が土曜日に休日の振替を行うように組まれている関係で、例年通り 6 月末から 7 月初めにかけての開催が困難な状態となりましたので、会員の皆様には何かとご迷惑をおかけしますが、上記の日程でご了承ください。あわせて、研究発表会と講演会を開催する予定です。講演会は英語学部門から松蔭女子学院院長の郡司隆男先生にお話しいただく予定です。その他詳細は、追って総会・大会案内をお送りします。また、公式ウェブサイト http://www.konan-u.ac.jp/~els でも告知する予定ですのでご利用ください。

研究発表会開催にあわせ、発表者を募集いたします。ご希望の方は、発表要旨を 1200 字程度にまとめたものを、電子データで任意の方法で大会準備委員長(青山)宛(y3121327@center.konan-u.ac.jp)に提出してください。締切りは 6 月 30 日(土)必着です。また、念のため同様の内容を 1 部プリントアウトしたものも事務局あてに郵送してください。これに関してはメールでの応募が済んでいれば後日でも構いません。

ここ数年、とくに文化文学分野での発表応募者が減っております。会を盛りたてるため にも積極的にご応募いただけると助かります。奮ってご応募ください。

3. 特別講演会の企画について

2017年2月から3月にかけて、Pittsburgh 大のColin MacCabe 教授が甲南大学に滞在されるのに合わせ、英語英米文学科と共催の形で3月18日(土)に特別講演会の開催を検討しています。MacCabe 教授は、ジョイスについての著作や映画研究、ゴダール伝(邦訳あり)のほか、映画プロデューサーとしてもご活躍の先生です。実現されますよう、お楽しみにお待ちください。

4. 編集委員会より

現在『甲南英文学』の編集作業が進行中です。今回は英語学 3 本とアメリカ文学 1 本の 論文の投稿がありました。今後も多数のご投稿をお待ちしております。なお、『甲南英文学』 の発行自体は例年通り 6 月末から 7 月初めを予定しています。

5. 出版物紹介

会員のご活躍をニューズレターで紹介しては、という提案がありましたので、これから みなさまに少しずつお知らせしていくことになりました。今回が第1回です。

『中世英雄叙事詩 ベーオウルフ 韻文訳』

枡矢好弘(訳)、開拓社、2015年11月19日、3,024円(税込)、

ISBN: 978-4-7589-2219-7

http://www.kaitakusha.co.jp/book/book.php?c=2219

『ベーオウルフ』という英雄叙事詩。すべてはここから始まる。かつて西欧で語られ描かれたその姿、そこに今日私たちが楽しむファンタジー物語の原点があるのだ。 それが特殊効果を用いて描かれるような、いかなる特別な能力を備えた主人公であれ、 その原点は英雄「ベーオウルフ」の姿に求められる。そして、ファンタジーの原点た るその物語の結末に、私たちは胸を打たれる。

『あの素晴らしき七年』

エトガル・ケレット/著 秋元孝文/訳 新潮クレスト・ブックス

2016 年 4 月 27 日 http://www.shinchosha.co.jp/book/590126/

初めての息子の誕生から、ホロコーストを生き延びた父の死まで。七年の万感を綴る、世界中で人気を集める掌篇作家による自伝的エッセイ集。

6. 事務局より

- ・ 新年度にあたり、住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせく ださい。メールで構いません。変更をお知らせいただけないと、ご連絡が滞る事態が生 じてしまいますので、どうぞお忘れになられませんようお願いをいたします。
- ・ 公式ウェブサイト (http://www.konan-u.ac.jp/~els) もご利用ください。事務局からの連絡 は書面だけでなく、ウェブサイトからも確認できます。

著書、翻訳、テキストなどの出版がありましたら、事務局までご連絡ください。上記のようにご紹介をしていこうと思っております。よろしくお願いいたします。(お気づきの場合は、ご本人以外からでもご連絡ください。)